**女子中高生の理系進路選択支援プログラム**

**令和6年度　企画提案書**

* 青字は記入にあたっての補足事項です。応募時には青字を全て削除してください。
* 枠がある記入欄は、必要に応じて拡縮して構いません。
* ファイルサイズは10MBを上限としてください。
* 提出時のファイル名は「【応募機関名】令和６年度企画提案書」としてください。
* 記述した内容（数値目標を含む）は、採択後に作成する業務計画書に反映するものとして作成ください。
* 本提案書における用語の説明は募集要項P3を参照してください。

**【１】応募概要**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 企画名 | タイプ①または③として応募する場合、コーディネータ等の配置に伴う計画をa～eから１つ以上選択　※タイプ②の場合は空欄 | | | | | |
| ふりがな |  | | | | | |
| 応募機関名 |  | | | | | |
| 応募区分 | 新規　または  再応募を記載 | タイプ | | ①②③のいずれかを記載 | コーディネータ等の配置 | |
| a 　b 　c 　d 　e | |
| ふりがな |  | | | | | |
| 実施責任者名  （役職、氏名） | 応募者にあたる機関の長（学長、総長、理事長、機構長など）名を記載してください。 | | | | | |
| ふりがな |  | | | | | |
| 実施組織名 | 実施主体となる部局（学部・研究科や部・室など）を記載してください。 | | | | | |
| 所在地 | 〒 | | | | | |
| 連絡先 | TEL： 　　　　　　　　 E-Mail：　募集〆切後に照会可能な連絡先 | | | | | |
| ふりがな |  | | | | | |
| 実施主担当者名  （役職、氏名） |  | | | | | |
| 共同機関名 | （該当があれば記載してください） | | | | | |
| 連携機関名 |  | | | | | |
| 教育委員会の  参加状況 | 提案書提出時に参加が確定　　　  令和６年９月末までに参加を想定  どちらかをチェック | | | | | |
| 企画対象地域 | 「○○県全域」や「○市、●市及び◎町」など、企画の実施地域を記載してください。 | | | | | |
| 所要経費総額 | 1年目 | | 2年目 | | | 3年目 |
| （JST支援分） | 6,000,000　円 | |  | | |  |
| （自己財源） | 300,000　円 | |  | | |  |
| 企画概要 | 【４】の「企画内容」の概要を**３００字程度**でまとめてください  採択時の公表資料等として使用しますので、十分吟味を加えたものとし、平易な表現で記述してください。また、図表は使用しないでください。 | | | | | |

**【２】応募機関について**

　設置目的、経緯、特色等について、概要がわかるように記述してください。（1ページ以内）

**【３】類似事業の実績などに関する事項**

（（１）、（２）、（３）あわせて2ページ以内）

（１）過去における類似事業の活動実績

女子生徒の理工系分野に対する興味や関心を喚起し、理系進路の選択を支援した企画など、実施機関（および共同機関）が実施した女子中高生に対する活動実績（テーマ、内容、方法、成果など）を簡潔に記述してください。

（２）今回の応募内容との相違点や発展性

　過去の活動実績と今回の応募内容との相違点や発展性を記述してください。

（３）女性科学者などに関する補助金などについて

「応募中の企画」もしくは「受入予定の企画」の有無：　　　無**・**有（以下に記載）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ①応募中の企画 | | | | |
| 資金制度・補助金名など  (研究期間・配分機関など) | 課題名など  （代表者氏名） | 役割  (代表・分担の別) | 令和６年度の補助金などの額 | 内容の相違点および他の補助金などに加えて本プログラムに応募する理由 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| ②受入予定の企画 | | | | |
| 資金制度・補助金名など  (研究期間・配分機関など) | 課題名など  （代表者氏名） | 役割  (代表・分担の別) | 令和６年度の補助金などの額 | 内容の相違点および他の補助金などに加えて本プログラムに応募する理由 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

# **【４】企画の内容**

# （１）企画を実施する背景、目的、達成目標

企画を着想するに至った背景（企画の必要性、問題意識）および企画全体の目的、達成目標とその検証方法を記述してください。（1ページ以内）

※都道府県全域規模での実施か周辺市区町村規模での実施か、実施規模と企画の内容を含めて、

以下の各項目について明記してください。

◆応募に至った経緯、背景となる問題意識

◆企画全体の目的

◆企画の対象となる地域

　　〇〇県全域や、△△市及び周辺自治体など、企画全体の対象となる地域を記載してください

◆企画の達成目標（可能な限り数値目標を掲げてください。）

多くの参加者を集める

女子中学生延べ○名以上

女子高校生延べ○名以上

保護者〇名・教員○名以上

参加者の理解度を高める

「取組に対する満足度○％以上」

「理系進学希望者○％以上を確保」

「進路意識の変容　実施前比○％以上の増加」　など、箇条書きで記述してください。

◆達成目標に対する検証方法

# （２）全体概要図（１ページ以内）

３年間にわたる企画の内容について、全体概要のイメージ図を作成してください。女子中高生などへ取組を行う実施体制の構築を中心として、参加者募集・取組・成果発信・企画改善などがどのように実施されるのかがわかるように記述してください。

支援終了後の事業継続も考慮した全体概要を記述してください。

# （３）企画の概要

３年間にわたる計画について、実施項目、その概要がわかるように具体的に記載してください。

主に自己財源などによって実施する部分は、灰色の網掛けで示し、分かるように記載してください。

※対象者の人数には、アンケートのみの参加者とするなど、取組に参加しない者を含めないでください。

　※参加者に対する取組だけでなく、実施体制の中で開催する全体会議等の予定も記載してください。

　※実施項目に併せて、表の段は増減させてください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | | 取組概要  （開催時期・概要は必ず記載してください） | 対象者別延べ人数 | | | |
| 女子  中学生 | 女子  高校生 | 保護者 | 教員 |
| ① | 学校訪問 | ９～１１月  ・女性研究者と女子学生が〇〇市内中学校を訪問し、理系のロールモデルや学生生活などを紹介する | ○名 | － | ○名 | ○名 |
| ② | 講演会・座談会 | ５月  ・ロールモデル、ワークライフバランス、業務の紹介等 | ○名 | ○名 | ○名 | ○名 |
| ③ | 実験体験 | ６，８，１０，１２月  ・血糖量の測定、動物組織の顕微鏡観察、遺伝子組み換えなど | ○名 | ○名 | － | ○名 |
| ④ | サイエンスカフェ | １１月（オープンキャンパス時）「身近な化学」  ・○○など | ○名 | ○名 | ○名 | ○名 |
| ⑤ | 教員向け講演会 | １１月  ・○○など | － | － | － | ○名 |
| ⑥ | 全体会議 | ９，３月  ・支援終了後も継続的に企画を実施していくための実施体制に参加する機関が集まる会議 | － | － | － | ― |
| 合　計　人　数 | | | ○名 | ○名 | ○名 | ○名 |

**【１年目】**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | | 4  月 | 5  月 | 6  月 | 7  月 | 8  月 | 9  月 | 10  月 | 11  月 | 12  月 | 1  月 | 2  月 | 3  月 |
| ① | 学校訪問 |  |  |  |  |  | **２** | **３** | **３** |  |  |  |  |
| ② | 講演会・座談会 |  | **１** |  |  |  |  |  |  | 実施項目別・月別に計画回数を記入（準備期間は含みません） |  |  |  |
| ③ | 実験体験 |  |  | **１** |  | **２** |  | **１** |  | **２** |  |  |  |
| ④ | サイエンスカフェ |  |  |  |  |  |  |  | **１** |  |  |  |  |
| ⑤ | 教員向け講演会 |  |  |  |  | **２** |  |  |  |  |  |  |  |
| ⑥ | 全体会議 |  |  |  |  |  | **１** |  |  |  |  |  | **１** |

**【２年目】**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | | 取組概要  （開催時期・概要は必ず記載してください） | 対象者別延べ人数 | | | |
| 女子  中学生 | 女子  高校生 | 保護者 | 教員 |
| ① |  |  |  |  |  |  |
| ② |  |  |  |  |  |  |
| ③ |  |  |  |  |  |  |
| ④ |  |  |  |  |  |  |
| ⑤ |  |  |  |  |  |  |
| ⑥ |  |  |  |  |  |  |
| 合　計　人　数 | | | 名 | 名 | 名 | 名 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | | 4  月 | 5  月 | 6  月 | 7  月 | 8  月 | 9  月 | 10  月 | 11  月 | 12  月 | 1  月 | 2  月 | 3  月 |
| ① |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ② |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ④ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ⑤ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ⑥ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**【３年目】**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | | 取組概要  （開催時期・概要は必ず記載してください） | 対象者別延べ人数 | | | |
| 女子  中学生 | 女子  高校生 | 保護者 | 教員 |
| ① |  |  |  |  |  |  |
| ② |  |  |  |  |  |  |
| ③ |  |  |  |  |  |  |
| ④ |  |  |  |  |  |  |
| ⑤ |  |  |  |  |  |  |
| ⑥ |  |  |  |  |  |  |
| 合　計　人　数 | | | 名 | 名 | 名 | 名 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | | 4  月 | 5  月 | 6  月 | 7  月 | 8  月 | 9  月 | 10  月 | 11  月 | 12  月 | 1  月 | 2  月 | 3  月 |
| ① |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ② |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ④ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ⑤ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ⑥ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

オープンキャンパスと併せて開催する場合には、該当する年度と併催する理由を記述してください。

著しい効果が期待され（例：参加者以外への波及効果が大きい、参加者数が大幅に多いなど）、企画の趣旨に沿い、実施体制に参加する機関が協力して行うことを説明してください。

# （４）企画の詳細

**①女子中高生向けの取組**

女子中高生の理工系分野への興味・関心を喚起し、理系進路意識を醸成させる内容とその実施方法について説明してください。また該当する場合は、以下についてもこの枠内に記載してください。

・タイプ①または③を選択し、コーディネータ等が担う具体的な役割や活動がaにあたる場合、その具体的な実施計画

＜１年目＞

「（３）企画の概要」に記載した女子中高生を参加対象者とする**実施項目ごと**に、目的、内容、方法、工夫、効果を簡潔に記述してください。その際、「（３）企画の概要」の実施項目番号と番号を一致させてください。主に自己財源などによって実施する部分は、灰色の網掛けで示し、分かるように記述してください。

目的：女子中高生に対して行う取組の目的

内容：取組の具体的な内容　連携機関（・共同機関）の協力内容

方法：取組の具体的な実施方法

工夫：取組の目的を達成するために行う特徴的な工夫

　　　　コーディネータ等が関わる場合、その役割や具体的な内容

効果：期待される女子中高生への効果と、その検証方法

（例）

＜１年目＞

①学校訪問

理工系分野に興味を持ったことのない生徒にも取組に参加してもらうため学校訪問を行う。

具体的内容は、・・・

②講演会・座談会

科学技術は、社会で多岐にわたり役立っていることを女子中高生が普段身近にあるものを題材に　具体的イメージができるように伝える。

具体的内容は、・・・

③実験体験

興味関心を喚起するために体験の機会をつくる。その際、実験を行う理由などをわかりやすく説明する。

　具体的内容は、・・・

＜２年目＞

２，３年目については、前年度からの変更点（差分）を色つき文字や下線部で強調するなど、わかりやすく記載してください。前年と同様の場合は「前年度からの変更点なし」とするなど、重複する記述はなるべく避けてください。

＜３年目＞

●女子中高生への取組が理系進路選択に関心が薄い、または文理選択に迷っている女子中高生を中心とした取組に加えて、具体的な理系学部の選択に迷っているといった、それ以外の参加者も視野に入れた幅広い視点からの取組を実施するための工夫点を記述してください。

●男子生徒の参加を想定している取組がある場合は、取組の位置づけや男子生徒が参加する理由について記述してください。

**②教員・保護者向けの取組**

教員と保護者に対して、女子の理系進路選択に対する理解を促す内容やその実施方法について説明してください。また、該当する場合は以下についてもこの枠内に記載して下さい。

・タイプ①または③を選択し、コーディネータ等が担う具体的な役割や活動がbまたはcにあたる場合、その具体的な実施計画

・【再応募機関（平成28年度以降の支援期間が通算で6年に達する）】の「Ⅲ7.（２）拠点の拡大と取組の浸透にかかる展開項目（カ）」に関する提案

「（３）企画の概要」に記載した教員と保護者を参加対象者とする**実施項目ごと**に、目的、内容、工夫、　　　効果を簡潔に記述してください。その際、「（３）企画の概要」の項目番号と番号を一致させてください。

目的：教員と保護者に対して行う取組の目的

内容：取組の具体的な内容

方法：取組の具体的な実施方法

工夫：取組の目的を達成するために行う特徴的な工夫

　　　　コーディネータ等が関わる場合、その役割や具体的な内容

効果：期待される教員・保護者への効果と、その検証方法

＜１年目＞

（例）

①学校訪問

　　理工系学部で何を学び何ができるのか、大学生活はどのようなものか、卒業後はどのような職業に就いているのか、企業で女性がどのように期待されているのかなどを知っていただくことで、生徒から進路選択について相談された際にアドバイスができるような情報提供を行う。

具体的内容は、・・・

⑤教員向け講演

教育委員会が主催する教員向け研修で、女性大学院生・企業人による講演会を行う。女性大学院生からは、進路選択の際に知りたかったことや教員からアドバイスしていただきたかったことについて、企業人からは、理系に進んだ女性が社会でどのように期待されているのかなどをテーマにする。

　　　具体的内容は、・・・

＜２年目＞

２，３年目については、前年度からの変更点（差分）を色つき文字や下線部で強調するなど、わかりやすく記載してください。前年と同様の場合は「前年度からの変更点なし」とするなど、重複する記述はなるべく避けてください。

＜３年目＞

# **【５】実施体制**

# （１）体制図（1ページ以内）

全体的な実施体制について、以下の内容がわかるように図を用いて説明してください。

・実施機関、連携機関（・共同機関）

・実施組織　※主体となる組織に加え、企画に参画する部署、センター、研究所等があれば明記

・実施責任者、実施主担当者、実施担当者、コーディネータ等（該当する場合）など

・支援終了後の事業継続を考慮した実施体制

※実施機関の組織内の体制も含め、（２）の説明と合わせて記述してください。特に広域での実施を　希望する場合は、どのように広い地域をカバーしていくか、わかるように記述してください。

# （２）実施体制の説明（1ページ以内）

（１）の図のうち、構成機関の役割、ならびに実施体制を構築、維持、展開していく運営計画について　記述してください。また、該当する場合は以下についても本項目に記載して下さい。

・タイプ①または③を選択し、コーディネータ等が担う具体的な役割や活動がdまたはeにあたる場合、その具体的な実施計画

・【再応募機関（平成28年度以降の支援期間が通算で6年に達する）】は募集要項「Ⅲ7.（２）拠点の拡大と取組の浸透にかかる展開項目（キ）」に関する提案

●タイプ①または③を選択し、コーディネータ等が担う具体的な役割や活動a～eに加えて、その他の　提案がある場合は、その具体的な実施計画を記述してください。

●教育委員会の参加が想定段階であり、令和６年９月末までに実現予定である場合は、JSTとの実施　協定成立後、どのようにして協力関係を構築していくのかを記述してください。

# **【６】広報活動・成果の普及と展開**

本プログラムの目的を効果的・効率的に達成するために実施することを記述してください。

（1ページ以内）

「企画全体の目的・達成目標」などに記述した参加者数を確保するために実施する周知活動や、企画の実施に伴うマスコミなどへの広報、成果発信や成果展開、企画の改善などについて、具体的に記述してください。

＜１年目＞

＜２年目＞

２，３年目については、前年度からの変更点（差分）を色つき文字や下線部で強調するなど、わかりやすく記載してください。前年と同様の場合は「前年度からの変更点なし」とするなど、重複する記述はなるべく避けてください。

＜３年目＞

# **【７】事業の継続性**

主に自己財源などによって実施する部分は、灰色の網掛けで示し、分かるように記述してください。

# （１）実施体制に参加する機関が集まって進める取組（1ページ以内）

支援終了後も継続的に事業を実施する基盤を形成するために、JST支援期間中に複数機関が集まって進める取組について、以下の項目を満たす取組の計画を記述してください。

・実施体制に参画する機関が集まる定期的な全体会議

・関係機関相互の連携を強化する、実施体制に参画する機関全体による取組

＜１年目＞

＜２年目＞

２，３年目については、前年度からの変更点（差分）を色つき文字や下線部で強調するなど、わかりやすく記載してください。前年と同様の場合は「前年度からの変更点なし」とするなど、重複する記述はなるべく避けてください。

＜３年目＞

# （２）予算計画（1ページ以内）

支援期間終了後、事業を具体的にどのようにして継続させるのかについて、以下の項目を満たす計画を記述してください。

　　・継続性を考慮した事業内容、規模などについての説明

・支援終了後の実施財源（自己財源、外部資金など）に関する計画

（当該事業の財源をどこから用意するか、財源を獲得するために、支援期間中に何を実施予定か）

# **【８】新展開項目**　※再応募機関のみ、記述してください

（１）これまでの企画に関する内容

これまで「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の支援期間に実施した企画について、記述してください。

（ア）これまでの企画で達成できたこと

（イ）これまでの企画の中で見えてきた課題

（ウ）（イ）の原因と課題への対応

（２）新たな展開内容とそのねらい

今回申請する企画における、新たな展開内容について、以下の項目を満たす計画を記述してください。

・支援期間終了後における企画実施の継続性に留意した実施体制の改善と再構築についての説明

・成果の最大化に資する企画の深化についての説明

（１）の（ア）～（ウ）を踏まえた新たな展開内容とそのねらい

今回申請した企画内容の中で、これまでの企画とは異なる新たな展開内容（実施項目の内容や連携・共同する機関、アプローチの対象・地域など）について、記述してください。

# （３）支援終了後に向けた具体的な活動内容

支援終了後を見据えて、企画を継続的に実施するための、支援期間中の具体的な活動内容について、計画を記述してください。

終了後に企画を継続して実施するために行う、財源獲得や地元機関との協定などの連携強化、参加者確保のための連携や広報など、計画している具体的な活動内容について記述してください。

# **【９】所要経費見込み**

＜１年目＞

初年度経費について、主な内訳・使途・見込み額を積算根拠（計算式）とともに記述してしてください。

（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **費　目** | **種　別** | **主な内訳・使途** | **予定合計金額** |
| ①直接経費 | 物品費 | 設備備品費 | ※取得価格額が20万円以上かつ使用可能期間が1年以上の設備備品、ソフトウェア）既製品） |  |
| 消耗品費 |  |  |
| 人件費・謝金 | 人件費 |  |  |
| 謝金 | 学生TA（1,000円×5人×10回） |  |
| 旅費 | 旅費 |  |  |
| その他 | 外注費（雑役務費） | バスチャーター（7万×5回） |  |
| 印刷製本費 |  |  |
| 会議費 |  |  |
| 通信運搬費 |  |  |
| その他（諸経費） |  |  |
| ②一般管理費（①直接経費総額の１０％以内） | | | |  |
| **③合　計（①直接経費＋②一般管理費）** | | | |  |
| ④その他自己財源（JSTの支援を希望しない自己財源負担部分がある場合） | | | |  |
| **⑤総合計（③合計＋④その他自己財源）** | | | |  |

※記載の際は、募集要項「（参考）支援対象となる経費」をお読みください。

※上記の表について、別途エクセル等で作成した表に差し替えても構いません。ただし、項目は上記の表と合わせてください。

●「物品費」のうち設備備品費を計上する場合は、その理由を記述してくだい。

品名、購入数量、購入金額、使用目的、使用期間および使用頻度、機関内の既存品等を活用できない理由などについて記載してください。

●「人件費・謝金」のうち人件費を計上する場合、具体的な雇用内容、期間、支援終了後について予定を記述してください。

事業の継続性を踏まえ、支援終了後の予定も含めて記述してください。

＜２、３年目＞

２年目以降の所要経費について、費目ごと、種別ごとに見込み額を記述してください。　 （単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **費　目** | **種　別** | **2年目** | **3年目** |
| ①直接経費 | 物品費 | 設備備品費 |  |  |
| 消耗品費 |  |  |
| 人件費・謝金 | 人件費 |  |  |
| 謝金 |  |  |
| 旅費 | 旅費 |  |  |
| その他 | 外注費（雑役務費） |  |  |
| 印刷製本費 |  |  |
| 会議費 |  |  |
| 通信運搬費 |  |  |
| その他（諸経費） |  |  |
| ②一般管理費（①総額の10％以内） | | |  |  |
| **③合　計（①＋②）** | | |  |  |
| ④その他自己財源 | | |  |  |
| **⑤総合計（③＋④）** | | |  |  |
| 前年度からの主な変更点 | | | 記載例）  ・○○開催のための△△の追加購入 | 記載例）  前年度からの変更点なし |

　※本表は、各年度の予算内訳を確定させるものではなく、応募時の計画を確認するものです。各年度の成果検証・フィードバック等により一部内容が変更となるなどして、実際の各年度の予算内訳が変更となることは問題ありません。

　※上記の表について、別途エクセル等で作成した表に差し替えても構いません。ただし、項目は上記の表と合わせてください。